

協働する子・自律する子をめざしてパート2

前回、『HP 校長室から』で20日の市教委指導主事訪問で1年生の授業についてお伝えしました。今回は他の学年の様子をお伝えします。

それぞれの学級の学習のめあてです。

あすなる「チラシから買いたいものを選んで、買い物をしよう」

ひまわり「いろいろなものを使って、まるをかこう」

2年生「テープ図を使って、白組の得点を見つけよう」

3年生「コンパスの針のさすところを考えて、模様をかこう」

4年生「 1cm^2 をもとにして、面積を求めよう」

5年生「自由進度学習：面積で習得した内容を使って自分のめあてを達成しよう」

6年生理科「自由進度学習：てこのはたらき」



「自律する児童の姿」系統図とともに先生方と話し合っているのが学習のめあてです。指導者が子どもたちとめあてを共有するポイントとして「〇〇して(使って)、□□しよう」というように「〇〇」という手段や方法を子どもたち

と共有して、□□というめあてを達成しようと授業づくりを行っています。もちろんこのめあてのパターンに当てはまらない場合



もありますが、子どもたちの様子を観ていても具体的な授業イメージは持ちやすいかなと感じています。指導主事の方からは、子どもたちの振り返りについて「学習の入り口がしっかりしているので、子どもたちが自律に向かう自己調整力を一層育むために、毎時間、どのような学習の振り返りをしているのか、先生方で話し合っ

みてはどうか」と提案を頂きました。

早速、研究推進委員会で話し合ってみようということになりました。

授業改善など、よりよいものをめざす作業としてPDCAサイクルで考えることが重要と捉えています。今回の訪問を「C・check」（これまでの学校の取組に助言いただいた）と捉え、更によりよい授業の創造につなげていきたいと思っています。ありがとうございました。